

日本で初めて育成された菓子専用小麦 新品種「ゆきはるか」

東北地域ではめん用小麦の「キタカミコムギ」が菓子用として使われていますが、蛋白含量の少ない割に、グルテンの力が強く、必ずしも菓子原料として優れているわけではありません。そこで、東北・北陸地域向けに弱い生地特性を持つ薄力小麦として改良した菓子用品種「ゆきはるか」(旧系統名 東北224号)を育成しました。「ゆきはるか」は日本で初めて育成された菓子専用品種です。

畑作園芸研究領域

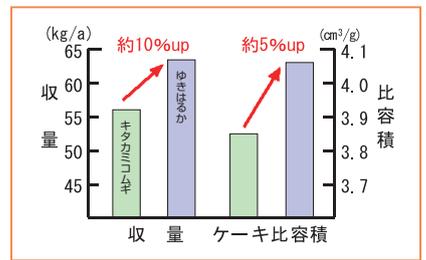
中村和弘

NAKAMURA, Kazuhiro



写真／「ゆきはるか」の粉を使用した試作品

び病抵抗性は中程度ですが、穂発芽性はやや難で、縞萎縮病にやや強く「キタカミコムギ」より優れています(表)。秋播性は東北・北陸に適するIVです。耐寒性はやや強いですが、耐雪性は東北地域の基準でやや弱く、栽培適地は冬期間の連続積雪日数(根雪期間)が80日以下の地域になります。



図／「ゆきはるか」の収量とスポンジケーキ比容積

《「ゆきはるか」の生い立ちと特徴》

「ゆきはるか」は「東山30号」を母、「関東117号」を父として人工交配を行い、以後13年間、選抜と固定を繰り返し育成した品種です。「東山30号」は後に「キヌヒメ」として品種登録された麺用系統で、秋播性で早生種です。「関東117号」は後に「きぬあずま」として品種登録された麺用系統で、多収性です。

「ゆきはるか」は「キタカミコムギ」と比較すると蛋白含量は同程度ですが、グルテンの力が弱く、このためスポンジケーキにすると膨らみが良く食感も優れています(図)。「ゆきはるか」の成熟期は東北地域の基準でやや早生で、穂数が多く、「キタカミコムギ」より10%多収です(図、表)。赤か

《「ゆきはるか」に託す願い》

「ゆきはるか」は平成23年に品種登録を申請しました。奨励品種には採用されていませんが、岩手県を中心に試験栽培と加工業者による品質評価が行われています(写真)。栽培希望者には農研機構東北農業研究センターから有償で種子を分譲していますが、栽培に当たっては事前に地元のJAや普及センターに相談して下さい。

「ゆきはるか」の漢字表記は「雪晴香」で、「雪」は積雪地帯である東北・北陸の気候に適することを表し、「晴香」は厳しい冬を乗り越えたのち、晴れ渡った青空の下で豊かな恵みがもたらされ、香り高いお菓子が消費者の元に届けられることを願って名付けられました。

表／「ゆきはるか」の生育特性

品 種 名	秋播性	成熟期 月/日	稈長 cm	穂数 本/m ²	容積重 g/1	外観 品質	耐寒性	耐雪性	耐倒 伏性	穂発 芽性	耐病性	
											縞萎縮	赤かび
ゆきはるか	IV	7/2	90	647	798	中中	やや強	やや弱	やや強	やや難	やや強	中
キタカミコムギ	V	7/8	98	551	813	中上-中中	やや弱	やや弱	中	やや易	中	中

注) 平成17~21年度平均、東北農業研究センター水田圃場産。外観品質は上上~下下の9段階評価。